

4 乳児死亡及び新生児死亡

(1) 乳児死亡数及び乳児死亡率、新生児死亡数及び新生児死亡率

乳児死亡数は43人で前年の60人より17人減少し、乳児死亡率（出生千対）は2.5で、前年の3.5より1.0下回った。

また、乳児死亡のうち新生児死亡数は26人で、前年の24人より2人増加し、新生児死亡率（出生千対）は1.5で、前年の1.4より0.1上回った。

乳児死亡率及び新生児死亡率を年次推移でみると、両率とも減少傾向を呈しているが、本年の乳児死亡率は過去最低となったが、新生児死亡率は前年、前々年ともに上回った。

(2) 都道府県別にみた乳児死亡率及び新生児死亡率

都道府県別に乳児死亡率をみると、本県の2.5は全国で14位であり、全国の2.4より0.1上回った。

乳児死亡率の最も高い都道府県は奈良県の4.0で、次いで岩手県の3.5となっている。

また、最も低い都道府県は佐賀県の1.5で、次いで高知県の1.7となっている。

新生児死亡率については、本県の1.5は全国で8位であり、全国の1.2より0.3上回っている。

新生児死亡率の最も高い都道府県は徳島県の2.2で、次いで奈良県の2.0となっている。

また、最も低い都道府県は福井県の0.6で、次いで秋田県、高知県の0.7となっている。

図3 乳児死亡・新生児死亡(出生千対)

